

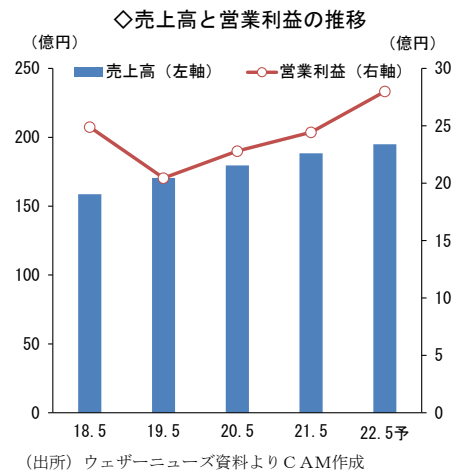
企業ニュース ウェザーニューズ

(東証プライム: 4825) <https://jp.weathernews.com/>

作成者: 高見澤晶子

世界最大級の総合気象情報会社

1986年に設立した民間気象情報会社。法人向けに陸・海・空のあらゆる分野に適合した気象情報や関連サービスを提供、また個人向けに天気予報サイトやアプリの運営を行っている。21.5期の売上高構成比は、法人向けが54%、個人向けが46%。全国1.3万地点の観測網や衛星画像などによる気象観測データに、全国のユーザーから収集した現地の気象情報を加えた独自のデータベースを作成、これによる予報精度の高さや詳細な気象情報の提供を強みとしている。近年は気候変動の影響により世界各地で甚大な災害をもたらす異常気象が発生しやすくなっている。気象情報への関心の高まりにより、中長期で当社の存在感が増すと期待される。



法人・個人向けともに好調

22.5期・第3四半期累計（6-2月）の連結業績は、売上高が147億円、前年同期比8%増、営業利益が21億円、同28%増。売上高は法人向けが78億円、同5%増。船舶稼働率が回復に向かっていることに伴い、航海気象サービスが好調。個人向けは69億円、同11%増。モバイル・インターネットサービスにおけるコンテンツの拡充やテレビCMの効果で有料サービスの利用者が増加、広告収入も寄与した。利益面ではソフトウェア開発体制の効率化やクラウド費用の最適化が寄与した。

22.5期の通期会社計画は、売上高が195億円、営業利益が28億円（期首より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、対前期の伸び率は非算出）。第4四半期（3-5月）は前年同期比7%減収、同13%営業減益でも達成可能な計画。ビジネス拡大に伴う経費増が見込まれるものの、事業環境に大きな変化がないことを踏まえると保守的な印象で上振れ余地があろう。23.5期は航海・航空の分野において経済活動再開による気象情報の利用増が見込まれ、法人向けの売上回復が期待できよう。また、充実したコンテンツによる競合との差異化により、個人向け有料サービスの利用者増加も見込めよう。

【株価動向・投資判断】

気象情報へのニーズを追い風に、中長期での業績拡大が期待できよう。

<4825 WNIウェザ 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.5	17,953 (5)	2,280 (11)	2,188 (13)	1,629 (19)	149.0	100.00
21.5	18,843 (5)	2,444 (7)	2,554 (17)	1,861 (14)	169.8	100.00
22.5 予	19,500 (-)	2,800 (-)	2,900 (-)	2,000 (-)	182.0	100.00

(注) 22.5期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、22.5期予の伸び率は「-」表示。



【主要株価指標】 (売買単位: 100株)	
株価 (2022/4/15)	7,800 円
年初来高値 (高値日)	9,750 円 (22/1/4)
同 安値 (安値日)	7,220 円 (22/1/27)
予想 P E R (22.5 予)	42.9 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	1,455.4 円
P B R	5.36 倍
予想配当利回り	1.28 %
(1株当たり配当金年100.00円)	
R O E (21.5)	12.5 %
発行済み株式数	1,184 万株